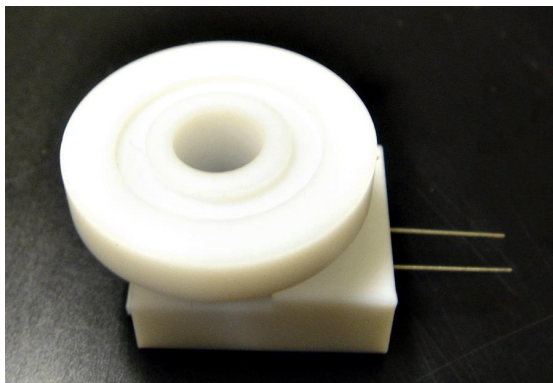
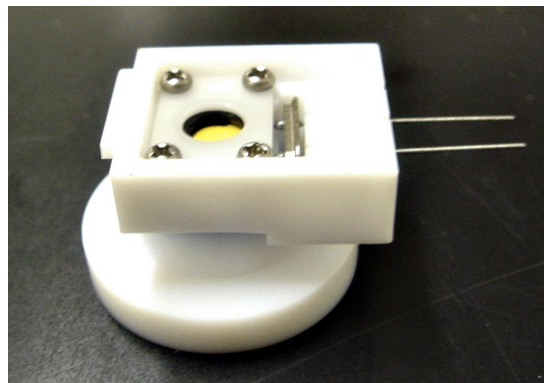


QA-CL4 ウェル型セル



QA-CL4 表面 (水晶振動子装着)

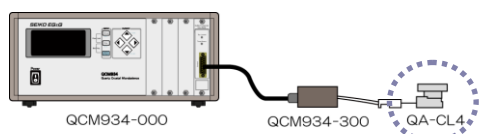


QA-CL4 裏面 (裏蓋は外してあります)

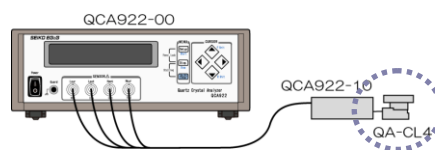
QA-CL4 は、弊社製 QCM (QCM934 または QCA922/917) 本体に接続して使用するウェル型セルです。装着された水晶振動子は、セルによって機械的に保持されるとともに、QCM 本体と電氣的に接続されます。

- セルの液受け用カップ部に溶液 (最大 750 μ l) を直接注入して使用します。《接続例 1、3》
- セルのカップ先端部は O-リング溝のついたフランジ構造になっているため、専用の試料容器とフランジ接続し、大容量溶液での分析も可能です。《接続例 2》
- セルを RG100 セルボトムと K0264 に接続して、EQCM 測定が可能です。《接続例 4》
(このとき、QCA922-10 の Working 端子とポテンシオスタットの作用電極ケーブルを接続します。)
- セル外装部がテフロンのため、酸・アルカリ・有機溶媒に対応しています。
(O-リングもパーフロ製に交換することをお奨めします。)
- 水晶振動子を 4 隅のネジで固定するため、水晶振動子を押しやる抵抗が小さくてすみませす。
(共振抵抗の初期値が小さくなります。)

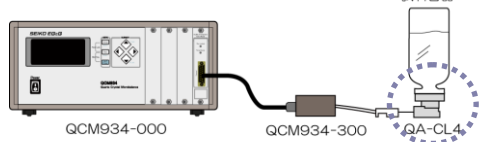
《接続例 1 QCM測定》



《接続例 3 QCM測定》



《接続例 2 QCM測定》

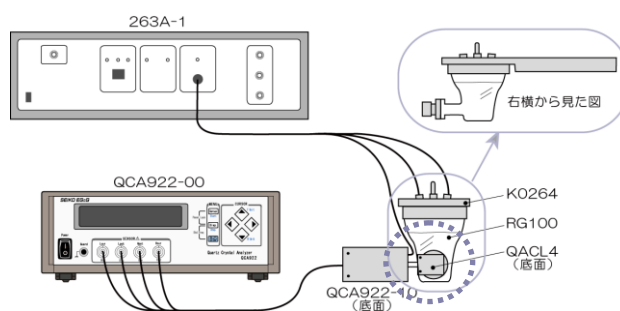


発振回路ユニット (QCM934-300) を介して QCM934 本体と接続し、QCM測定を行います。

アダプタケーブル (QCA922-10) を介して QCM922 本体と接続し、QCM測定を行います。

※ 発振回路ユニット (QCA917-11) を介し、QCA917 本体と接続することも可能です。

《接続例 4 EQCM測定》



接続例 3 にポテンシオスタット、RG100、K0264 を組み合わせると、EQCM測定が行えます。

仕様

QA-CL4

項目	仕様
適応水晶振動子	9MHz AT カット水晶振動子の使用が可能 (QA-A9M-AU、QA-A9M-PT など)
材質 <small>※下記「耐食表」参照</small>	本体 : テフロン、ポリアセタール Oリング : バイトン パーフロ (オプション、酸・アルカリ・有機溶媒に使用可能) 止めネジ : ステンレス
外形寸法	25.5 (W) × 20 (D) × 22 (H) mm (突起物を除く)
ウェル容量	最大 750 μ l
使用環境温度範囲	0°C~40°C 但し結露のないこと
使用方法	カップ部に試料溶液を入れて使用

耐食表

溶媒 \ 材質	PVDF	テフロン	塩化ビニル	ポリプロピレン	バイトン	パーフロ	ステンレス	シリコーン
HCl	○	○	△	○	×	○	○	△
H ₂ SO ₄	○	○	△	△	—	○	○	△
HNO ₃	○	○	—	○	△	○	○	△
NaOH	○	○	—	○	—	○	○	×
アセトン	○	○	△	△	×	○	○	△
エタノール	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 使用可
△ : 限定条件で使用可
× : 使用不可

※ 製品の改良にともない、予告なく記載内容を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

2009年12月 Rev. 1.7



セイコー・イージーアンドジー株式会社

本社・東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル 6F 〒104-0032
電話番号:03-5542-3101(代表) ファクシミリ:03-5542-3109
<http://www.sii.co.jp/segg/>

営業課 中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル 6F 〒104-0032
カスタマーサービス 松戸市高塚新田 563 〒270-2222

電話番号:03-5542-3104 ファクシミリ:03-5542-3109
電話番号:047-709-5743 ファクシミリ:047-709-5745